

## 大和郡山市第5次総合計画前期基本計画(案) に対するパブリックコメントの結果について

1. 募集期間 令和8年1月9日～令和8年1月30日  
 2. 応募件数 1名の方から18件  
 3. 応募方法 窓口 1名

No.	意見の趣旨	意見に対する市の考え方
1	<p>こども・子育て支援 適切な教育環境を確保するための学校規模は地域の現状を踏まえつつお願いしたい。矢田南小学校区には、入学前の教育・保育施設がなくなる。(令和10年から幼稚園統廃合の為)それ以降他の地域に比べ、就学前教育が困難になる。 矢田南幼稚園は矢田認定こども園分園として残す形はないのか地域に子育て世代が入ってこなくなり、地域の衰退化につながるのではないのか。</p>	<p>本市の公立幼稚園は、園児数の減少により小規模化が進んでいます。園児が集団の中で学び育つ環境を確保する観点から、一定規模の集団を維持できるよう幼稚園の配置を総合的に検討していきます。</p>
2	<p>教育・学校 「少子化に伴い、適切な教育環境を確保するための学校規模は地域の現状も踏まえつつ、調査研究を継続する必要があります。」 →現在、平成30年6月5日から令和2年2月4日まで、「大和郡山市学校規模適正化検討審議会」が開かれ答申も出されているのではないのか。  「教育DXより基礎となる力を身につけたデジタルネイティブ世代のこどもが、大和郡山市のDXを推進する好循環となるよう、様々な体験をもとに基礎的な力を育みます。」 →新しい言葉で表現され抽象的なため、具体的な姿が見えにくい。</p>	<p>「大和郡山市学校規模適正化検討審議会」で答申をいただいておりますが、学校施設の適正規模・適正配置については、地域の実情を踏まえた上で、慎重に調査・研究を続ける必要があると考えております。  ご指摘を踏まえ、巻末に用語解説を加えさせていただきます。</p>
3	<p>健康・食育 計画の指標を明確に数値化して欲しい。 健康寿命→語句への説明が欲しい。 前期基本計画における指標の現状欄について (65歳+) 18.19年→83.19歳 (65歳+) 21.30年→86.20歳の方がわかりやすい。  指標を目標数値で表現して欲しい。「健康・食育について教育や健康づくりの取り組みの充実が進んでいると思う市民の割合」→少し理解しにくい。もう少しわかりやすく表現してほしい。</p>	<p>健康寿命の「年」表記につきまして、奈良県が算出しております健康寿命が元となっており、その中で「年」と表記されているため、同じ表記とさせていただきます。  具体的な数字に落とし込むことが難しいため、矢印で方向性を示させていただきます。</p>
4	<p>地域福祉 自治体やボランティア団体では高齢化で担い手不足→この問題を解消する一つとして、活動の負担軽減を述べられているが、具体的にはどのような施策を考えておられるのか。地域で住民に寄り添って活動されている「民生委員」の方に頭が下がる。年々活動内容が増加している。何か支援策を考えないと後継者が見つからなくなるのではないのか。  計画の指標は「/」ではなく、10年後の具体的な数値を表示して欲しい。</p>	<p>協力・依頼事項の確認と調整、内容によってはICTを活用した仕組みづくりなど、各団体の特性や内容に応じた支援策を検討してまいります。 民生委員に対する支援については「民生児童委員連合会」や適宜民生委員本人に話を聞くなど、問題や課題の把握に努めており、必要な支援に取り組んでまいります。  具体的な数字に落とし込むことが難しいため、矢印で方向性を示させていただきます。</p>

5	<p>高齢者支援 = 移動支援</p> <p>高齢者になる → 車運転不安 → 車免許証返納 → 外出困難 → 体力・意欲の低下傾向 → 車免許証を返納しても、外出意欲が出せる支援をお願いしたい。外出には、当然路線バスを利用することになるが、高齢者の視点から公共交通を改善してほしい。</p> <p>①ハイキングなどの楽しみが可能に</p> <p>②高齢者でも、自由に買い物に行けるように。但し、荷物を以ての乗り降りは</p> <p>③病院に通院する時、今の路線を見直してほしい。乗り継ぎが多い。(県救命センター)</p>	<p>市内の移動につきまして、コミュニティバスの運行に加えて、令和7年10月1日からデマンドタクシーの実証運行を進めており、よりよい交通環境の整備を進めております。ご指摘のとおり、外出の低下から身体機能の低下にもつながることから介護予防の取組も進めてまいります。</p>
6	<p>人権・男女共同参画</p> <p>人権を身近に感ずる具体例を提示してほしい。</p> <p>「すべての人が個性と能力を十分に発揮できるまちづくり」</p> <p>どのようにして個人を尊重する意識の醸成を。女性本人の意向を十分に尊重し、参画促進。市の人事で、どのように男女参画を推進するか具体的な目標数値を示してほしい。</p> <p>計画の指標</p> <p>項目として、「男女参画」-女性管理職登用 人権研修の講座開催、参加者数など具体的な数値目標を設定してほしい。</p>	<p>本計画においては、大きな枠で目標を設定しており、個別・具体的な目標につきましては個別計画において定めております。</p> <p>女性管理職の割合など、具体的な指標について「大和郡山市男女共同参画基本計画（第四期）」で掲載しています。</p>
7	<p>生涯学習</p> <p>地域コミュニティの活性化 「コミュニティ」という言葉には、数多くのことを表現しているので、具体的に何を示しているのか不明</p> <p>施策8生涯学習の項では、新しい語句表現がなされ、私（77歳）では辞書でなく「スマホ」で調べないと理解困難。web、ICT、電子図書館コンテンツ、トライスポーツフェスティバル</p> <p>計画指標-10年後の姿を具体的な数値で表示してほしい。「^」ではあいまい。</p>	<p>地域コミュニティは、地域住民同士のつながりや集まりのことです。</p> <p>ここでは、特定のコミュニティに限定しておりませんので、地域コミュニティという表現にしております。</p> <p>新たな用語につきましては、本文もしくは巻末の用語解説に説明を加えてまいります。</p> <p>具体的な数字に落とし込むことが難しいため、矢印で方向性を示させていただきます。</p>
8	<p>観光</p> <p>基本計画指標 指標にある観光客数（R6）861,479人</p> <p>A. 市街地（旧城下町）の観光客 578,000人</p> <p>B. 市街地の郊外（矢田寺、松尾寺）の観光客 329,000人（2019年度市統計より）</p> <p>市にA、B、に他市もうらやむ観光名所が多い。しかし、A、B、の観光客は大きな差がある。差=活用できていない観光客、逃しているのである。私の考える理由は、市内では徒歩、郊外は車で移動。奈良市のように循環バス路線があれば移動が楽である。商工会も連携すれば・・・。</p> <p>一部局だけで考えず、全市プロジェクトで解決を！</p>	<p>観光客数の増加につきましては、関連部局及び関係機関と連携し、移動のみならずプロモーション等も含め、検討してまいります。</p>
9	<p>労働、産業振興</p> <p>多くの事業所で人材不足が課題である。その原因と解決策はどのようなものがあるのか。</p> <p>事業者の高齢化による空き店舗の増加。商店街のにぎわいの要素を明確にして、解決方法は、どのようなものがあるか。</p> <p>農地が適切に利用される方法・・・いつまでに具体策を金魚養殖の事業継続とは具体的にどのようなものなのか農業の未来に向けた「地域計画」の策定をいつまでに行うのか。</p> <p>計画の指標・・・10年後の目標を具体的に数値化してほしい。</p>	<p>高齢化の進行、人口減少に伴い、労働・産業分野に関わらず人材不足の状況にあります。まちの魅力向上から人々に選ばれるまちづくりを進め、人口減少の抑制に取り組みつつ、各分野における課題の解決に向け、関係機関と連携しながら、進めてまいります。</p> <p>本計画は施策の方向性を定めるものであり具体的な内容は分野ごとの個別計画や毎年度の予算編成の中で考えていくこととなります。</p>

10	<p>防災・減災、医療</p> <p>○自主防災組織を確立した自治会は何パーセントか。</p> <p>○10年計画では、目標達成は何パーセントか。</p> <p>○防災訓練について</p> <p>4カ年ですべての自治会が実施できるよう、市が呼びかけ支援指導する。自治会の気運を待っているのはほぼ不可能である。市として災害発生時に住民を守るよう自治会と連携して訓練を実施。10年後には70パーセント(?)の自治会が避難方法を習得できているように取り組む。</p> <p>○平時の避難指示発令時(高齢者向け)を利用して、経験を積み課題解決に取り組むべき。</p>	<p>自主防災組織の組織率は令和6年度で85.7%になり、10年後の目標値は設定しておりません。自主防災組織の結成に向け、様々な場や機会を活用した啓発活動に取り組んでおり、今後も継続して実施してまいります。</p>
11	<p>交通</p> <p>循環バス路線を。城下町特有の狭い道路状況については、述べられている。しかし、藪町線・大和中央線・大和郡山環状線が拡張、改善されている。私は、これらの道路が現在充分活用されていないと思う。もったいない。現在のバス路線は、昭和40年代型で近鉄郡山を中心とした放射線型になっている。循環バス路線を考えてほしい。市民の利便性、特に高齢者、消費活動の活性化 市西～南部からイオンに観光客も</p>	<p>循環バス(コミュニティバス)の路線につきましては、利用状況を踏まえつつ、適宜、利用状況に応じて見直しております。</p>
12	<p>交通</p> <p>にぎわいを取り戻すために市の商工会等と連携し、奈良交通の「周遊MAP」を活用すればよりにぎわうのではないかと。もったいない。</p>	<p>奈良交通の「周遊マップ」の活用につきまして、検討してまいります。</p>
13	<p>交通</p> <p>高齢者の外出意欲を高めるために奈良交通の「ゴールドパス」の取得を市が支援してほしい。</p> <p>奈良市の「ななまるカード」の郡山版を。奈良市の70歳以上の笑顔がうらやましい。100円で奈良～月ヶ瀬温泉まで行ける。大和郡山市は分母も小さいが分子も小さい。</p> <p>高齢者、特に車免許返納者が外出意欲を持てる環境を整備してはどうか。公共交通の利用支援を早急に行う。例えば、奈良市の「ななまるカード」的なものを作ってほしい。車を手放した知人が生活を楽しんでいる。市内の知人は財布を気にしている。市内のバス路線は、イオンに映画鑑賞に行っても、矢田地域から乗り継ぎ時間待ち等で大変である。</p>	<p>奈良交通の「ゴールドパス」は3ヶ月券・6ヶ月券の購入で路線バスの運賃が半額になります。市として別に補助金を出すなどの支援を行う予定はありません。</p> <p>奈良交通の「ゴールドパス」や奈良市の「ななまるカード」の交通支援策につきまして、コミュニティバスの在り方やデマンドタクシーの導入など、様々な観点からより良い交通施策の構築に努めてまいります。</p>
14	<p>文化の保全、継承</p> <p>市内の城下町は郡山城だけでなく、小泉城、筒井城がある。江戸時代の郡山(市)の人々の暮らしがわかる「郡山地域の歴史博物館」を設置。大和郡山市は大きな戦災にあわず地域が残った。建物や歴史的資料が残存している。</p> <p>最近、古い建物が新築され、貴重なものが散逸している可能性もある。社会見学や観光施設にもなりうる。時期を逃せば、集まるものも集まらないことも。この際、市内の古民家を博物館にすれば費用も軽減される。</p>	<p>歴史的な資料につきましては、情報収集とともに、順次調査を進めております。また、市図書館にて保管するとともに、光学スキャン機器を用いてデジタル化を進めております。</p> <p>歴史博物館の設置について具体的な方策は定まっておりますが、一意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
15	<p>都市整備</p> <p>「下水道事業に携わる職員の確保及び技術の継承が課題である中、民間活力の導入も含め、今後の在り方を検討していく必要があります。」これは将来的には民間委託ということですか。</p>	<p>下水道事業の民間活力の導入につきまして、事務の一部を委託、人材派遣してもらうなど、様々な内容が考えられるため、慎重に検討してまいります。</p>

16	<p>都市整備</p> <p>都市整備では、近鉄郡山駅周辺に力点が置かれているが、コンパクトシティ構想の一貫で考えられているのか、他の地域はどうなっているのか。”元気城下町”7に固執している感を受ける。矢田（泉原町）周辺は、どのように整備を考えているのか。それともコンパクト構想から外れているのか。計画の指標は意味不明。具体的数値、目標を。</p>	<p>外からの玄関口、市街地の中心として近鉄郡山駅周辺を一定考えておりますが、将来像の“元気城下町”は全市で進めていくものと考えております。</p> <p>また、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを目指す立地適正化計画においては、全市域を対象としております。</p>
17	<p>情報発信 相談体制の充実</p> <p>よく市職員の方から「ホームページを見てください。」と丁寧に言われる。しかし、パソコン、インターネットを使っていない市民はどうすればよいのか考えてほしい。10年後の将来像を示してほしい。</p> <p>情報発信 相談体制の充実</p> <p>各施策の計画指標について</p> <p>○項目内容が理解できないものが多い。 ○具体的数値で表現してほしい。</p> <p>○「→」は現状維持と思うが、10年後は？</p>	<p>パソコン・インターネットが使われない方につきましては、紙面や別の方法で情報提供、相談に応じております。</p> <p>本計画の将来像は「希望と誇りをつなぎ、新たな価値を生み出す元気城下町」としております。</p> <p>具体的な数字に落とし込むことが難しいため、矢印で方向性を示させていただいております。</p>

<p>用語解説</p> <p>○説明されていない用語が多い。国語辞書で調べられず、スマホで調べてやっとである。スマホを使わない人はどうすればいいのか。 ○適切な日本語句があるのに、カタカナ（外来語）表記が多いと思う。 ○この第5次計画は、誰が読むことを想定しているのかと思う。 ○施策によって、難解用語の使用に差が見られると感じる。</p> <p>○用語説明の追加希望 用語の説明漏れが多いと思う。用語の説明があっても理解がむずかしい。</p> <p>第2編 基本構想</p> <p>P 1 7 「大和郡山ファン」づくりとは、具体的に説明を</p> <p>P 6 「大和まほろばスマート I C」 「教育 D X」とは、具体的に説明を</p> <p>P 6 「デジタルネイティブ世代」・・・1996年～2000年代以降の出生。幼少期からインターネットやスマホが生活の一部としている世代のこと。</p> <p>P 1 1 「フレイル」・・・最近保健関係でよく聞かすが、高齢者にとって、新しい語句を理解するのに疲れる。例えば、痴呆症前期、認知症初期など</p> <p>P 1 5 「アイコンシャス・バイアス」・・・多くの人々が読んで意味がわかる表現はないのか。漢字表記ならまだ内容が想像できるが、市の職員すべての方が説明できるのか。表現方法の変更を望む。 ex)過去の見聞から、無意識の偏見や思い込みによって偏った見方、考え方をすること</p> <p>P 1 8 「web」・・・意味を知っている人もいるが、知らない人もいる。（私も）インターネット上で文字情報などをリンクで繋ぎ、閲覧・共有するシステム</p> <p>P 1 8 「ICT」・・・(情報通信技術)と括弧書き説明があった方がよい</p> <p>P 1 8 「電子図書館コンテンツ」・・・どこにも説明がなされていない。用語解説をお願いする。国語辞典には？</p> <p>P 2 8 「デジタルサイネージ」などのツール・・・用語解説をお願いする</p> <p>P 3 8 「下水道ストックマネジメント計画」・・・いつ計画されたのか。内容は不明 P 3 8</p> <p>「官民連携」(ウォーター P P P)・・・用語解説の項では、P P Pには5～6通りの説明があるが、本文に記載されているP P Pは具体的にはどのような内容なのか、明確に示してほしい。</p> <p>P 3 8 「情報バリアフリー化」・・・「バリアフリー」は用語解説がなされている。しかし「情報バリアフリー化」とは具体的にどういうことなのか。</p> <p>P 3 8 「アウトリーチ」・・・用語解説がない</p> <p>P 3 8 「アクセシビリティ化」・・・用語解説はあるが、わかりやすい日本語表現はないのか</p> <p>P 4 0 「ワーク・ライフ・バランス」・・・用語解説がむずかしい。やりがいのある仕事ということなのか。 P 6</p> <p>「ICT環境の整備」・・・具体的に何を整備するのか。</p> <p>P 6 「郡山中学校分教室「ASU」」・・・理解している人にはわかるが、初めての人には？ P 6 「国保データベース (KDB) システム」・・・解説がほしい。スマホでやっと</p> <p>P 9 「ライフステージ」・・・日本語では？</p> <p>P 1 7 「地域コミュニティ」・・・意味が広すぎる。日本語で表現した方が、理解が楽。スマホで調べたら「地域社会」「共同体」「住民組織」「地元」「町内会」「自治会」「地区地縁グループ」等</p> <p>P 3 0 「コンパクト・プラス・ネットワーク都市構造」・・・用語の解説を願う。出来れば日本語で。 21/21</p> <p>各施策について</p> <p>○前期基本計画の指標</p> <p>指標の表現方法として「/」「\」等でわかりやすいのか。私は10年後の目標を示すものであれば、具体的な数値がわかりやすい。</p> <p>○指標の項目設定について</p> <p>施策の中には、何を意図しているのか不明なものがある。 ex) ”・・・と思う市民の割合”反応で判断するのはわかるが、もっと適切なものがありそうに思う。</p>	<p>用語解説は再度精査し、少しでもわかりやすい計画となるよう、取り組んでまいります。</p>
---	---